

第58回入学式 式辞

色鮮やかな花々が咲きほこり、春の香りが満ちあふれる季節になりました。本日この佳き日に、佐賀市立城北中学校に入学された154の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

ようこそ城北中学校へ。皆さんの入学を、みんな心待ちにしていました。

さあ、今日から皆さんは、伝統ある城北中学校の生徒になりました。

皆さんは、中学校生活に期待と不安を感じながら今日を迎えたことと思います。

勉強はついていけるだろうか

友だちはできるだろうか。

部活動で先輩たちとうまくやっていけるだろうか

いろいろな不安があることでしょう

しかし、心配はいりません

この城北中学校には、よき先輩、よき先生、よき保護者、よき地域の方々がいっぱいいます。

このステージの校章を見て下さい。この校章は北辰です。北辰とは北極星を表し、城北中学校の開校当初から佐賀市で目標とされる学校になろうという決意を意味しています。これまでの城北中学校の先輩方は勉強に部活動に懸命に励み、北辰の名にふさわしい、すばらしい成績を収め、佐賀市、佐賀県でも目標とされる学校にしてきました。入学時は誰でも不安はありますが、北辰になろうという学校の校風がみなさんをよい方向に導いてくれます。特に先輩方は生徒会を中心にして、意欲にあふれています。

学校行事や学年の活動、何でも自分たちの手でやり遂げる姿

学び合いの授業で全員がわかるまで粘り強く学習する姿

朝のあいさつ運動や北辰タイムであいさつを大切に人との関わり方を学ぶ姿

先輩たちは自ら取り組む姿で みなさんに手本を示してくれます

それができる すばらしい 先輩です

どうか安心して学校生活を送ってください

入学にあたってみなさんに伝えたいことがあります。

それは夢を追い続けることの大切さです

みなさんは小さい頃からアンパンマンをよく見てきたと思います

このアンパンマンの作者のやなせたかしさんは漫画家として世の中の人に認められるために40年近くかかりました。売れなくても 彼はひたすら漫画を描き続けました。好きな漫画を描けることが喜びであり、少しも苦しみはなかったそうです。そうして40年描き続け、その良さが世間の子どもから大人まで幅広く愛されみんなのアイドルアンパンマンになりました

しかし、そのやなせさんも 一生のうちで一度だけ漫画を描くことをやめようとおもったことがあるそうです。

それは新入生が生まれたころに起こった東日本大震災のときです。

この震災で多くの人々が家族を亡くし、家を失い 絶望のどん底に落とされました。そんな人々を見ても何もできない自分。こんなときにのんきに漫画を描いていいのか 悩み苦しんだそうです。何もできない自分に腹も立ったそうです。そんな日々を送っていた時に、震災から数日後に、あるラジオ番組に「あんぱんまんのマーチを流して下さい」というリクエストがあり、さっそく放送したところ、子どもたちがラジオにあわせて大合唱を始めたということです。また、大人たちも涙を流して感動したそうです。それからラジオ局は連日アンパンマンのマーチを流しました。

そのニュースを聞いてやなせさんは、「そうか、ぼくにできることは、心に傷を負った子どもたちを元気づけ、励ますことなんだ」とわかったそうです。そしてアンパンマンを描き続けることこそ 自分の夢なんだと実感したそうです

みなさんは、アンパンマンのマーチの歌詞を覚えてますか。この歌詞の中には「生きる喜び」「いまを生きる」という言葉がよくでてきます。私はこの歌詞の中で気になっていたのは、「胸の傷が

痛んでも」という歌詞です。この曲の出だしは、「そうだ嬉しいんだ生きる喜び、たとえ胸の傷が痛んでも」で始まります。アンパンマンの「胸の傷」とは何なのか気になりました。しかし、彼が40年間漫画家として認められずに、苦労をしながら生み出したキャラクターがアンパンマン」。アンパンマンは強くない。強いときもあるけど、相手にも、自分にも負けそうで、弱い部分もたくさんあります。それこそが他の正義の味方と違うところなのかもしれません。人間は、そんなに強くない。むしろ失敗の連続で、悲しいことや苦しいこともある。やなせさんは、人間は誰でも胸の傷があるといいたいのではないかと思います。それを乗り越えた先に必ず喜びがあるといいたいのではないかと思います。

やなせさんの言葉です。

「絶望の隣は希望です!」

人間はこんなふうに、逆境の中でも夢を見る生き物なのだ。

人は誰も幸せな人生を送りたいと願い、こうありたい、明日はそうなれるかもしれないと夢を追いかけていく。だからこそ、がんばれるのだ。

もしかしたら、実現しないかもしれない。夢で終わってしまうかもしれない。それでも夢を追いかけていく。いつの間にかそれが生きがいになっていく。

自分のやりたいことをずっと継続して、やめないこと

それが大事だといいます。

新入生のみなさん

どうか中学校生活で勉強や部活動に一生懸命に取り組んで 自分の命を輝かせましょう
自分の夢を追いつけましょう

保護者の皆様

改めまして、本日はお子様のご入学おめでとうございます。新しい制服に身を包み、少し大人びた感じもする お子様の様子に、感慨もひとしおのことと拝察いたします。これから3年間、保護者の皆様といっしょになって、一生懸命に子どもたちの教育にあたっていきたいと思っております。そこで、保護者の皆様にとお願いをしたいと思います。

子どもたちの夢の実現実現に向け、教職員一丸となって邁進するつもりですが、相互の信頼関係を築き上げることを何よりも大切にしたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

学校における諸活動にも、ぜひ、ご参加いただきまして、忌憚のないご意見、ご要望をお聞かせ下さい。

また、中学時代は思春期の難しい時期ではありますが、ぜひ 子どもたちに寄り添い 目をかけてください 声をかけてください 手をかけてください 子どもたちはそのぶん 応えてくれるはずです。

最後になりましたが、本日はご来賓の方々の出席をご遠慮願っていますが、多くの方々から、入学のお祝いの言葉と地域をあげて子どもたちの成長を応援していくとの温かい言葉をいただいています。地域の中でこれまで同様、子どもたちの活躍の場を保障していただくことを切に願っています。

154名の生徒の今後の活躍を祈念して校長の式辞といたします。

令和4年4月12日

佐賀市立城北中学校 校長 堤 賢二